

## 男女共同参画推進室事務局訪問

**男女共同参画推進室を設置。  
『多様性活力発揮』『女性研究者支援』をキーワードに  
男女共同参画推進事業を展開。**

「男女共同参画社会」とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」（男女共同参画社会基本法）と規定されています。

岐阜大学は、性別にかかわらず、それぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、課題を認識するとともに積極的な取り組みを推進しています。森学長のリーダーシップのもと、第2期中期計画では「男女共同参画計画を策定し、全学的に男女共同参画を計画的に推進する」ことを謳いました。

その実践の一環として、2010年4月に男女共同参画推進担当の副学長を置き、5月には室員7名を選任。幸先よく、平成22年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に、本学の課題「多様性活力発揮に向けての女性研究者支援」が採択され、その推進事業の取り組みをはじめ、男女共同参画実現に向けた基盤づくりへの期待が寄せられています。





## 岐阜大学男女共同参画推進室と連携・協力

9月1日付で男女共同参画支援コンシェルジュ(特任准教授)が着任し、工学部・応用生物科学部からも各1名の室員が加わり、性別・年代・研究分野・学部の異なる10名による、まさに多様性活力を発揮できるメンバー構成となりました。

7月29日には「男女共同参画推進事業キックオフフォーラム」を開催し、現在は「男女共同参画宣言・行動計画」の策定、12月開催予定のシンポジウムや各種支援事業について協議を重ねています。

また、それぞれの室員が「ジェンダー関連の授業科目」「インターネットを活用した勤務システム」「メンター制度」「学童保育・病児保育」「研究支援者雇用」「出前授業」「意識改革セミナー」などの課題を担当し、力を合わせて支援体制の確立をめざしています。

事務体制としては、8月1日付で総務部人事労務課に設置された男女共同参画係が、男女共同参画推進室と連携・協力して任務遂行にあたっています。



## 推進事業による女性研究者支援

前掲の「多様性活力発揮に向けての女性研究者支援」事業は、「意識改革」「女性研究者育成」「女性研究者支援」「人的資源循環支援」を4つの柱としています。

推進事業の一例としては、女性研究者と女子学生の交流の場「カモミール・カフェ(顔見一る・カフェ)」の運営があり

ます。すでに研究に従事している女性研究者の支援はあらゆること、「これから活躍する女性研究者」の育成支援にもかかわっています。カモミール・カフェにはコンシェルジュが常駐し、実際に支援の必要な人と「顔を合わせ」て、ロールモデルの提示やキャリアアップ支援に携わっています。

その他の女性研究者支援策として、育児や介護により仕事と家庭の両立が困難になっている女性研究者に対し研究支援者を派遣する制度が挙げられます。研究支援には主に大学院生が従事することになり、女性研究者の研究支援(研究補助)体験が支援者自身のスキルアップにもつながると期待されます。

女性研究者は教育者でもあります。教育者自身がロール

モデルとなることで、男女共同参画社会の将来を担う学生たちにも、その趣旨や意義が浸透していくことでしょう。一方通行ではなく双方にメリットがある制度こそ、より多くの人々に理解され、制度として浸透していくのではないのでしょうか。

こうした取り組みをはじめ男女共同参画推進室の活動については、毎月発行しているNEWS LETTER「かもみーる通信」でお知らせしています。

## 全学あげての取り組み、さらに地域の活性化に向けて

現在、男女共同参画推進室では、科学技術振興調整費による推進事業(事業期間は2013年3月まで)の取り組みとして「女性研究者支援」を中心に展開していますが、男女共同参画推進のための活動はこれに限定されるものではありません。

厚生労働省のデータによると、2009年の男性の育児休業取得率は1.72%、本学ではゼロの状況です。これまで往々にして、育児・介護は女性の仕事とされてきたその背景には、休業による昇進の遅れ、収入減などさまざまな要因が考えられます。構成員のワーク・ライフ・バランス(仕事と生

活の調和)の実現に向けて抜本的な改革が求められているでしょう。

そのためにも、まずは科学技術振興調整費事業による取り組みを推進することで女性研究者のワーク・ライフ・バランスの改善を実現し、その成果を活用して、女性職員さらに男性研究者・職員へと、活動の輪と和を拡げていくことをめざしています。

粘り強い活動によって小さな取り組みが少しずつ波紋を描き、学内はもとより地域の活性化にも寄与できることを願っています。

### 《男女共同参画推進室員》

所属・職名	氏名
副学長(室長)・地域科学部 教授	林 正子
教育学部 教授	大藪 千穂
地域科学部 教授	和佐田 裕昭
医学系研究科 教授	清島 眞理子
医学系研究科 地域医療医学センター 助教	松本 茂美
工学部 教授	青木 正人
応用生物科学部 教授	田中 逸夫
保健管理センター 准教授	田中 生雅
総務部長	坪内 孝治
男女共同参画推進室 特任准教授(コンシェルジュ)	三宅 恵子

### 《事務局》

所属・職名	氏名
総務部人事労務課長	高木 雅弘
総務部人事労務課課長補佐 男女共同参画係長	金竹 克広
総務部人事労務課男女共同参画係 事務職員	石井 宏樹
総務部人事労務課男女共同参画係 事務補佐員	浅野 かをり